



「校訓」・「校是」・「校風」



長 巨 宏
校 川 岩
ゆ 岩

今年の定期人事異動で百石高校から赴任して参りました。私は平成元年に上北地区の高校に採用となり、三十年の時を経て令和元年に再び上北地区にお世話になるとは思いませんでした。これからは、三本木高校・附属中学校のため力を注いでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、通勤途中に押しボタン式の信号機があり、小学生がボタンを押し横断歩道を渡ると、必ず左右の車に向かっておじぎをする場所がある。一人や二人だけでなく全員が同じようにおじぎをするのである。たぶんその小学校ではそれが当たり前になっているのであろう。学校が教えなくても、上級生がやってみせれば、下級生は、見よう見まねで同じことをするようになる。学校の先

生よりも子ども同士の方がずっと面白い。おじぎをしないでいけば、仲間から白い目でみられる。こうして、いつのまにか、一つのしきたりのようなものができる。子どもにはほとんど当たり前になっているのだろうが、初めて目にするものには、新鮮な感動を覚えないかと思う。

東大・京大生に一番読まれた本「思考の整理学」の著者である外山滋比古氏が著書「空気の教育」で次のように述べています。「人間が生活しているところにはやがて、一定の空気、雰囲気が生じる。本當の教育は押し付けや口先だけの注意ではない。子どもを包む家庭や学校の空気こそ、最も深いところには作用する。」ところで、三本木高校・附属中学校の校風とはどんなものなのか・・・。転勤してきたばかりの私にはまだわからぬ。これから先三本木の校風を感じ、「校訓」、「校是」と並ぶ新たな柱として教育活動に取り入れていきたいと考える日々である。

編集・発行

青森県立
三本木高等学校
三本木高等学校附属中学校
父母と教師の会
広報委員会

TEL 0176-23-4181 (高校)
TEL 0176-24-1184 (中学校)
<http://www.kamikita.ed.jp/~sanbonji/>

題 字 書道部

高校1年1組 里村くるみ

印刷 / 日刊東北印刷所

「新年度を迎えて」

時代の変化への対応



長 昭 文
PTA 会 長
か 菅

私は、三本木高校の卒業生ではありません。でも長女が六年間、次女が今年四年目と、PTAとしては今年で十年目に突入しました。皆様方のご協力とご理解を頂きながら精一杯努力して参りますので、子どもたちのため多くの保護者が積極的に参加下さる事をお願い申し上げます。



さて、今年五月一日より、元号が令和となりました。私は、昭和・平成と過ごしてまいりましたが、時代は常に変化しています。その代表的なものが携帯電話です。私が会社に就職したころは、携帯電話はまだ存在せずポケットベルの初期タイプでメッセージすら送れないものでした。それがいつの間にか携帯電話に代わり、今はスマホが当たり前の時代です。スマートフォンでは、インターネットはもちろん、メールやゲーム、動画視聴、タブレットを使用してエクセルやワードなど、今までパソコンで行っていたことも、またデジタルカメラやビデオカメラで撮っていた写真や動画もスマホで撮りハードディスクやクラウドに保存することもできます。また、音楽プレイヤーの代わりに音楽をダウンロードして聴くことも、さらに買い物をする時のカード機能や電車の支払いのSUICAの機能も、地図機能を使いカーナビの機能も、家電製品のリモートコントロールなどもスマホを使って出来るようになっていきました。私が仕事を始めたころには全く想像すらしなかったものが出来ています。これからは子どもたちが、社会人になるころには、世の中がどのように変化しているのかわかりませんが、我々保護者と教師が一体となって変化に対応出来る子どもたちの一助となる活動をして参りたいと思っておりますので、一年間宜しくお願致します。